

第1回総会を振り返って

総会・懇親会 G 武 繁春（昭和46年応化卒）

新生「国大化学会」の記念すべき第1回総会が、6月30日（土）16時から、横浜駅東口の崎陽軒本店において開催されました。横浜駅地下街ポルタから直行できるという便の良さが幸いし、加えて、旧職員、現職員そして物質工学科化学系の現役学生さんからの協力も得られ、104名と多数の出席を得て盛大に執り行われました。

議事は渡辺博役員（昭和38年）の司会のもと、樋口修一郎会長（昭和35年）から、いつもの紙芝居型のあいさつで始まりました。平成18年度の活動報告・会計報告については、横浜応化会、横浜電化材化会、横国化学会ごとに、それぞれ関金一役員（昭和56年）、堀雅宏役員（昭和43年）、禅知明副会長（平成元年）から報告が、また国大化学会として初めての平成19年度活動計画として、年2回の会誌発行、名簿発行、在校生とのOB講演会などが副役員から説明され、いずれも原案通り了承されました。さらに第2回横浜国大ホームカミングデー（11月10日（土））への協力依頼が樋口会長から行われました。

引き続き「化学と歴史の接点」と題して、国立歴史民族博物館教授の今村峯雄氏（昭和40年）の記念講演をいただきました。氏の永年のテーマである同位体炭素分析を基にした歴史資料の年代解析という自然科学と人文科学にまたがる話に皆さん興味深く聞き入り、改めて化学の応用分野の広がりを実感することができました。

懇親会は宴会場「マンダリン」に場を移し、武が司会を担当しました。米屋勝利副会長（昭和37年）のあいさつに加え、ご来賓を代表して國分泰雄横浜国立大学工学研究院長と山口惇生産工学科同窓会会長からあいさつをいただいた後、鈴木和也副会長の乾杯で宴は和やかに始められました。佐藤菊正顧問、藤見眞廣氏の兩大先輩からは昔の話などをいただきながら、懇談の輪は一層盛り上がりました。宴の後半は現役学生さんによりビンゴ大会が行われました。崎陽軒銘品セットの景品が用意され、老いも若きも（老いが大部分！との声あり）、ひととき童心に返ってワクワク、ドキドキしながらビンゴゲー

ムを楽しむことができました。細田尚也役員（平成8年）の中締めで第1回総会は名残惜しくも閉会となりましたが、ビンゴに当たらなかった参加者にもウーロン茶が崎陽軒から提供され、皆さんおみやげとしてお持ち帰り頂くことができました。

なお、当日、次回の総会開催の参考とするためアンケートが行われましたが、その結果は次のとおりでしたので報告いたします。

1. 総会の開催時期について
 - ①（従来）11月の第1土曜日 12名
 - ②（今回）6～7月の土曜日 60名
 - ③（その他）6～7月の平日 4名
2. 総会の開催場所
 - ①（従来）大学キャンパス内 8名
 - ②（今回）横浜近辺 65名
 - ③（その他）：東京近辺 4名
3. 会費
 - ①（従来）2,000円程度（大学内食堂） 4名
 - ②（今回）5,000円程度
（実質8,000円掛かっています） 68名
 - ③（その他）10,000円程度でも良い 4名

総会アンケートの結果

